

4月の月一です。

(2021.4.20)

4月20日～5月11日迄、さいたま市も新型コロナウイルスの「まん延防止等重点措置」が適用されました。今日の朝刊の認知行動療法研修開発センター・大野裕先生のコラムで、「コロナ禍で多くの人が「どうせ何をしてしてもダメだ」と考え無気力に陥りやすい『学習性無力感』の状態にある可能性がある。」と書いておられました。「こころや体が辛くても、対処する『手立て』が見えてくると、心が軽くなる。」また、「なぜこうなったのか『原因探し』をしていてもつらくなる。」先に進むために、「工夫をして対処する『手立て探し』をすると良い。」と、言っておられます。

感染しない、感染させない「手立て」を模索しつつ、家族会活動を続けます。

満開の花水木が映える爽やかな朝。
我家の北側の田んぼに水が入り始めました。
2, 3日中には前面が水田になり、ゴールデン
ウィーク頃には、この様な風景になるでしょう。



◆◆————◆◆
精神障がい者と家族のための市民公開講座

◆◆————◆◆

みんなねつとが共催して実施する 働くことをテーマにした公開講座です。
「ずっと働きたい！を叶えるために ～働き続けるための支援や職場、働き方とは～」

【オンライン開催 (Zoom ウェビナー)】

2021年5月22日(土)13:00～15:30

- ・パソコン、スマートフォン、タブレットから参加できます。
- ・事前のお申し込みが必要です。
- ・開催前日に視聴用 URL とパスワードを送ります。
- ・無料・500名

【お申し込み方法】下記 URL よりお申し込みください。

<https://entry.smktg.jp/public/application/add/3456> 【申込締切日】5月20日(木)13:00

【オンデマンド配信】

6月1日(火)12:00～6月15日(火)12:00まで。下記 URL からご視聴ください。(事前のお申し込み不要)

<https://www.smilenavigator.jp/information/forum/>

【共催】・認定 NPO 法人地域精神保健福祉機構(コンボ) ・公益社団法人全国精神保健福祉会(みんなねつと)
・NPO 法人全国精神保健職親会(vfoster) ・一般社団法人日本うつ病センター ・大塚製薬株式会社

【プログラム】

講演 1 リハビリと生活を支える医療

岸本年史(奈良県立医科大学特任教授・医療法人鴻池会秋津鴻池病院院長)

講演 2 精神疾患と障害を持つ人たちへの就労支援で学んできたこと～「働き続ける」を支援するために～

三家英明(医療法人三家クリニック院長)

講演 3 人として～「働く」ことは、なぜ重要なのか～

芦田庄司(アクテック株式会社代表取締役会長)、奥野哲治、浜口慎、大橋恵(アクテック株式会社製造1課1係)

パネルディスカッション

司会 木下利彦(関西医科大学精神神経科教授)

パネリスト ・岸本年史(奈良県立医科大学特任教授・医療法人鴻池会秋津鴻池病院院長)

・三家英明(医療法人三家クリニック院長) ・芦田庄司(アクテック株式会社代表取締役会長)

・奥野哲治、浜口慎、大橋恵(アクテック株式会社製造1課1係)